



# GIGAタイムズ ゆいのひろば版

宮古島市はGIGAスクール構想で「宮古の自然や文化に誇りを持ち、超スマート社会 (Society 5.0) を心豊かにたくましく生きる主体性、創造性、国際性に溢れた明るい子」の育成を目指します。

令和3年度から始まった「GIGAスクール構想」、宮古島市は年ごとに活用ステージを設け運用してきました。各学校においては「校務の情報化」「授業でのICT活用(児童生徒一人一台の学習者用タブレット端末)」「家庭への持ち帰りの活用」を実施しています。このゆいのひろばでは、各年ごとに示した活用ステージの取り組み事例と令和5年度に向けた活用の方向性を示します。

**Stage2 個別学習の活用**  
(ドリル学習、調べ学習、学習記録利用)

**Stage1 日常利用**  
(記録、通知文、アンケートなど)

↑  
**一年**

令和3年度GIGAスクール構想導入期  
まずは使い方から始まり、「慣れる」ことへ



今まではパソコン室にある限られた台数での活用だったのが、児童生徒一人一台どこでも使うことのできる活用に変化しました。教員にとってもこれは初めてのことになるので、まずは端末使用のルール、校務や授業で活用できるためアプリケーション操作に慣れることを目的に1年目は進めてきました。しかし、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、端末の家庭への持ち帰り、オンラインを活用した授業と目的以上の活用が求められました。結果的に、この活用により、ICTを授業に活用していく難しさを払拭する機会につながりました。

**Stage4 教科における活用(協働学習)**  
(協働制作、プレゼンテーション)

**Stage3 教科における活用(一斉学習)**  
(デジタル教材活用、授業記録)

↑  
**二年**

令和4年度GIGAスクール構想実践期  
授業での活用が進み、表現する方法が増え、  
協働学習の充実にもつながってきました



今年度に入り授業でのICT活用が増えてきました。児童生徒が自分の見通しや考えを学習者用タブレット端末のアプリケーションを使い表現すること、児童生徒同士がアプリの共同機能で考えを共有し整理するなど、活用に関して様々な実践がなされています。全ての普通教室に配備されている電子黒板で教師が一斉表示させるのみならず、児童生徒が表現したり発表したりするという、学習者中心の活用場面も見られてきました。遠隔交流の実施も身近になってきており、離島であるという距離のハンデをICTでカバーするという利点で、子どもたちのよりよい体験機会が生まれてきています。

**Stage5 個別学習での活用**  
(調査活動、表現制作、ポートフォリオ)

↑  
**三年**

令和5年度GIGAスクール構想三年目は充実期  
情報活用能力を向上させながら、個別最適な学びを確立していく

## 情報活用能力



### 個別最適な学びはインプット・アウトプット で見えてくる

インプットに関して、一斉指導などから得られる知識等は、子ども自身からその情報にたどり着くことができます。子どもの情報を収集する力、複数の情報を比較する力、正しいかどうか判断する力を身につけることでインプットする方法や力が向上していきます。

タブレット端末の導入によって表現する(アウトプットする)方法が増えました。ノートに書く、黒板に書く、発表するという従来の方法に加え、瞬時に共有する、協働することで協働的な学びの質を向上させることができます。ICT機器を扱う知識や技術がより必要になってきます。

### 個別最適な学び と協働的な学び を一体的に充実



情報に関する技術、情報セキュリティ・情報モラルの向上が情報活用能力の土台になります！「タイピング能力を向上させる」自分が表現したいことを早く正確に入力できると表現する方法が増える。「情報セキュリティの知識」「情報モラルについての態度」を養う。情報端末を正しく利用すること。トラブルを予測すること。トラブルに対処できる対応力を身につけること。これがこれからの社会において当たり前の力になります。

令和5年度は、「タブレット端末の文房具化」「学習ログの利用」を目指します。授業の中で子どもたちが表現する際の手段の一つとしてタブレット端末を選択する。今までの学習の履歴・学習ログ(学習活動の内容や振り返りなど)を、現在や今後の学習に結びつけられる力を身につけていけるよう教育の情報化の取り組みを推進していきます。

【保育園・幼稚園・こども園・小学校の円滑な連携・接続に向けて】

幼児教育については、社会状況の変化等により生活体験、自然体験など直接体験の不足等が課題となっております。また、今後予想される変化の激しい社会を生き抜く力の育成のため、幼児期から児童期への子どもの発達や学びの連続性を保障し、教育の質を上げていくことが求められており、接続期のカリキュラムの作成、就学前施設と小学校との連携・交流の充実に向け、積極的に取り組んでいくことが重要です。

本市においても、幼児教育推進ロードマップを作成し、令和4年度を推進期、令和5年度を充実期、令和6年度を自立期として取り組んでいるところです。

幼小の円滑な連携・接続においては、幼児教育と小学校教育に携わる先生方がお互いの教育を語り、理解することができるよう、保幼こ小連携体制を構築する必要があります。

そこで、就学前施設と小学校を7つのエリアに分けて組織した「保幼こ小エリア連絡会」を発足しています。年3回連絡会を開催し、小学校の公開授業、幼児教育施設の公開保育、接続カリキュラムの共同作成に向けた検討等を行い、子どもの発達を軸にした学びの連続が図れるよう取り組んでおります。

また、「保幼こ小プロジェクト協議会」を毎月1回開催し、本市の幼小接続のビジョンの策定、接続カリキュラムの検討等、現場と一体となった協議を通して、本市の課題解決に向けて取り組んでおります。

今後も未来を担う子どもたちが笑顔で過ごせるよう更なる連携体制の構築、円滑な接続に取り組んでまいりたいと考えておりますので、ご理解・ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。



保幼こ小エリア連絡会

5月、8月、1月の年3回エリア連絡会を開催し、右記の7つのエリアで情報共有を行い、『学びの連続性の保障』に努めております。



| Aエリア(平一・南)        |           | Bエリア(北・東) |                    |
|-------------------|-----------|-----------|--------------------|
| 平一グループ            | 南グループ     | 北グループ     | 東グループ              |
| ①平一小学校 ☆          | ①南小学校 ☆   | ①北小学校 ☆   | ①東小学校 ☆            |
| ②平一幼稚園            | ②南幼稚園     | ②北幼稚園     | ②東幼稚園              |
| ③みつば幼稚園           | ③ていだの子保育園 | ③ふたば保育園   | ③はなぞのこどもえん         |
| ④みく保育園            | ④はっぴい保育園  | ④花園保育所    | ④東保育所              |
| ⑤心愛保育園            | ⑤カンガルー保育園 | ⑤いけむら保育園  | ⑤北保育園              |
| ⑥キッズハウス<br>たんば保育園 | ⑥おぞら南保育園  | ⑥うららか保育園  | ⑥Windows留学<br>センター |
| ⑦聖ヤコブ保育園          |           |           |                    |

  

| Cエリア(久松・鏡原) |        | Dエリア(下地・上野) |         | Eエリア(西辺・狩保・池間) |        |
|-------------|--------|-------------|---------|----------------|--------|
| ①久松小学校 ☆    | ②鏡原小学校 | ①下地小学校 ☆    | ②上野小学校  | ①西辺小学校 ☆       | ②狩保小学校 |
| ③久松幼稚園      | ④鏡原幼稚園 | ③下地こども園     | ④上野こども園 | ③池間小学校         | ④狩保幼稚園 |
| ⑤クララこども園    |        |             |         |                |        |

  

| Fエリア(城辺)  |           | Gエリア(伊良部)  |  |
|-----------|-----------|------------|--|
| 西城・福嶺グループ | 城辺・砂川グループ |            |  |
| ①西城小学校 ☆  | ①城辺小学校 ☆  | ①伊良部島小学校 ☆ |  |
| ②西城幼稚園    | ②城辺幼稚園    | ②伊良部こども園   |  |
| ③西城保育所    | ③砂川小学校    | ③佐良浜幼稚園    |  |
| ④福嶺小学校    | ④砂川幼稚園    | ④佐良浜保育所    |  |
|           | ⑤福里保育園    |            |  |

保幼こ小プロジェクト会議

12名の委員で編成されており、毎月1回「宮古島市の目指す子ども像」「接続カリキュラム」「保護者向けパンフレット」「研修会」の検討し、円滑な幼小接続に向けて取り組んでおります。



幼児教育研究協議会

令和4年11月30日、保護者の皆様のご理解・ご協力のおかげで『幼児教育研究協議会』が開催されました。午前中は平一幼稚園の保育参観、保育の振り返りが、午後からは講演会が行われました。平一幼稚園の園児が砂場で協同的に遊ぶ姿や自分たちで話し合いながら主体的にサッカーに取り組む姿、木の実で色水をつくる姿などから環境構成と援助の重要性について改めて考える機会となりました。



お知らせ

宮古島市においては、福井大学大学院と共同で、「保幼こ小の連携・接続」パンフレットを作成いたしました。

また、令和5年度小学校に入学する児童の保護者向け文書(保護者説明会で配布)も作成いたしました。お手元に届いた際にはご一読頂き、ご意見等頂けると有り難いです。



## はたち 「二十歳を祝う会」開催

去る令和5年1月5日(木)、令和5年二十歳を祝う会をJTAドーム宮古島にて開催し、20歳を迎える若者たち約500人が集いました。

オープニングアトラクションで、宮古島市創作芸能団んきゃーん塾が獅子舞や演舞を披露、また式典では、みやこ少年少女合唱団が市歌斉唱を行い、二十歳の門出を祝福して下さいました。

二十歳の決意表明では、代表者2名が両親や仲間へ感謝の気持ちを伝え、目標に向かって進んでいくことを述べられ、同期の皆さんで想いを共有しました。

会の前後では、久々の再会を喜び歓談を楽しむ若者の姿が多くみられました。



### 二十歳の抱負！



石川 舜平さん(平良中)

二十歳になって大人に近づき責任を感じています。将来はまだ決まっていませんが、来年留学に行きやりたいことをみつけたいと思います。



下地 夏鈴さん(北中)

二十歳になった実感は、振り袖に袖をとおしてできたかなという感じです。これからの夢は、学校を卒業して就職することが決まっているので、目一杯頑張って幸せな人生を送っていこうと思います。



## 久松小 第41回全宮古小学校駅伝大会初優勝！

第41回全宮古小学校駅伝大会が1月21日、市陸上競技場を発着点とする男女10区間14キロのコースで行われました。1区からアンカーまで1位を譲らず52分15秒の記録で見事初優勝に輝きました。

また男女の個人賞に5人が入り、男子の部で新里颯一朗さん(6年)女子の部で大淵芽依さん(4年)がそれぞれ1位となりました。学校スローガンの「一生懸命がかっこいいアトムっ子」の姿を沿道のみなさんにアピールできました。



駅伝選手



駅伝練習風景

### 「アトムっ子タイムの取り組み」

本校では一校一運動取組として「アトムっ子タイム」を実施しています。

朝の自主活動の時間に週3回、運動場でウォーキングや鉄棒、縄跳び等を行い、体力の向上を図ることが目的です。

駅伝大会へ向けて練習が始まったと同時に、全学年でも持久力アップを目指して、「宮古島RUN RUN RUN」プロジェクトを行いました。運動場を走った周回分だけ個人カードに色をぬり全体の走った距離の合計で沖縄本島までを目指しました。

朝の時間だけでなく、昼休みや放課後も、そのプロジェクトに参加する児童がみられ、あっという間に宮古ー沖縄本島間の距離300kmを達成しました。新たな目標として、沖縄本島-東京間の1550kmを掲げました。

1月31日現在の走行距離は2000kmとなり、すでに東京をこえています。全校児童が、心を一つに、励まし合って頑張ることで大きな成果を挙げることができました。

※「アトムっ子」…本校のシンボルであるアトム像にちなみ、親しみやすい久松小学校児童の愛称



アトムっ子タイム

